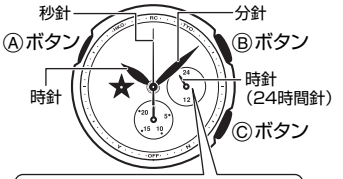
5098・5099・5101

CASIO

操作のしくみと表示の見方

本書は、携帯に便利なように、一部機能を抜粋して記載してあります。
詳細は取扱説明書をご覧ください。

<モジュール5099/5101>*



<モジュール5098>*



* モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています。

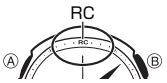
●電波受信確認

Ⓐ ボタンを押すと、秒針が「Y (YES)」または「N (NO)」の位置に移動し、受信が正しく行われたかを確認できます。



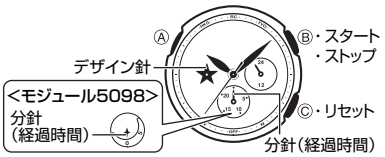
●手動受信

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けると、秒針が「RC」(受信中) の位置に移動し、電波受信が開始されます。



●ミニッツカウンター

<モジュール5099/5101>



<モジュール5098>

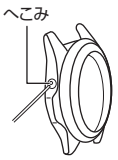
20 分 (20 分計) まで表示できます。経過時間は分針 (経過時間) が指す位置をご確認ください。

- デザイン針は、1 秒ごとに運針し、60 秒で 1 周します。

- **スタート／ストップ**
  Ⓑ ボタンを押すごとに、分針 (経過時間) がスタート／ストップします。
- **リセット**
  Ⓒ ボタンを押すと、0 分にリセットされます。

◆ご注意◆

Ⓐ ボタンは誤動作を防ぐために、指で簡単に押せない構造になっています。先が細いものなどを使用して、ボタンのへこみ部分を押して操作してください。



※ 本書ではわかりやすいよう Ⓐ ボタンを目立たせて表示しています。

※ 本製品の操作説明書は下記 URL からダウンロードできます。
http://casio.jp/support/wat/

5098・5099・5101QR*JA

電波の受信場所を変更するには

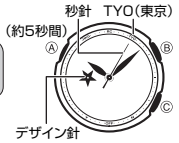
海外への旅行や出張など、本機をご使用になる国や地域が変わったときは、
時刻表示の時間を現地時刻に合わせるために電波の受信場所の変更が必要です。

中国で使う場合、電波の受信場所を「TYO (東京)」→「HKG (香港)」に変更する。

1. セット状態にする

時刻表示のとき、

デザイン針が下を向くまで、Ⓐ ボタンを約 5 秒間押し続けます



➡ 秒針が受信場所の位置「TYO」に移動します。

※ 秒針は電波受信結果を表示後、「RC」位置に移動し、さらに押し続けると受信場所の位置「TYO」に移動します。

2. 受信場所をセットする

Ⓒ ボタンを押して、秒針を「HKG」位置に移動させます



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに受信場所が切り替わります。

3. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

➡ 変更した都市の時刻を表示するまで、針が早送りで回り続けます。

日本・中国以外の地域で使う場合、電波の受信場所を「TYO (東京)」→「OFF (受信オフ)」に変更して、時刻の修正を行う。*

*OFF に設定した場合、電波受信は行いません。

1. セット状態にする

時刻表示のとき、

デザイン針が下を向くまで、Ⓐ ボタンを約 5 秒間押し続けます



➡ 秒針が受信場所の位置「TYO」に移動します。

※ 秒針は電波受信結果を表示後、「RC」位置に移動し、さらに押し続けると受信場所の位置「TYO」に移動します。

2. 受信場所をセットする

Ⓒ ボタンを押して、秒針を「OFF」位置に移動させます



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに受信場所が切り替わります。

3. 時・分セットに切り替える

Ⓐ ボタンを押します



※ 時・分針のセットのときは秒針が 12 時位置に移動します。デザイン針は上を向きます。

4. 時・分をセットする

Ⓒ または Ⓑ ボタンを押します



<モジュール5098>

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに 1 分ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 分ずつ戻ります。

※ Ⓒ または Ⓑ ボタンを約 2 秒間押し続けてからボタンを離すと、針が自動的に 1 時間分早送りされます。

※ Ⓒ と Ⓑ ボタンを同時に押すと、針が自動的に 24 時間分早送りされます。

※ 早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

※ 時を合わせるときは、24 時間針にもご注意ください。

5. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

➡ 秒針が動き始め、セット状態が解除されます。

※ 時報に合わせて押すと、正確に合わせられます。

※ セット状態のまま 2～3 分間すると、自動的にセット状態が解除されます。

Printed in China MA1103-A